

3月 5

沖縄自動車道における独自料金及び割引制度の継続要請

池田副知事は、西日本高速道路株式会社大阪本社を訪れ、同社の永田順宏取締役、「沖縄自動車道における独自料金及び割引制度の継続」に関する要請書(県・市長会・町村会の連名)を手交しました。

3月13日(水)、西日本高速道路株式会社において、令和6年3月末をもって終了とされていた、沖縄自動車道の「特別割引」が、「ETC利用車に限り、令和7年3月末まで延長する」との方針が発表されました。

県は、これまで関係要路へ要請を重ね、継続を求めています。今回、ETC車の継続については、これらが受け入れられたものと考えています。



3月 12

「能登半島地震被災地派遣職員報告会」を開催

1月1日に発生した令和6年能登半島地震を受けて、復旧・復興の人的支援のために沖縄から被災地へ派遣された職員らが、玉城知事に活動報告を行いました。

これまでにDMATやDPAT、JMAT、DHEAT、日本赤十字社など医療チームの医師や看護師、知事部局職員、教育庁職員、県警察職員などが被災地に派遣され、医療支援や石川県庁支援、被害状況調査、学習支援、安否不明者の捜索活動などに従事しました。

玉城知事は、派遣された職員に労いの言葉を送り、被災地から人的支援の要請があった際には、引き続き協力をお願いしたい旨を述べました。



3月 15

沖縄県と那覇市との「災害時等における庁舎の相互使用に関する協定」締結式

沖縄県と那覇市は「災害時等における庁舎の相互使用に関する協定」を締結しました。

本協定は、災害発生時に県または那覇市の本庁舎が機能不全などとなった場合に備え、お互いの庁舎施設の一部を相互利用できるよう取り決めた内容となっています。

災害時における行政機関の統制機能の維持は非常に重要です。

玉城知事は、県民の生命や財産を守るため、市町村や関係機関とのさらなる連携強化を図り、地域防災力の向上と防災意識の啓発に取り組む意向を示しました。



3月 19

玉城知事、宮古島の農林水産業を視察

玉城知事は宮古島市を訪れ、市内の農林水産業を視察しました。

同市の農林水産業は、さとうきびや肉用牛をはじめ、ゴーヤーやマンゴーなどの園芸品目の生産拡大が期待されるほか、水産業では、モズクや海ブドウなどの地域の特性をいかした生産振興が図られています。

その一方で、農業者の減少や高齢化、気象災害による農産物被害など、課題への対応が必要となっています。

玉城知事は、農林水産業の集荷施設や製糖工場、家畜セリ市場、生産現場の方々と意見交換を行い、県としても関係機関と連携し、必要な支援を行っていく意向を示しました。



新規就農者の圃場視察

5 2024 MAY 美ら島 沖縄

vol.584
ちゅらしま おきなわ

- 02 沖縄県はSDGsを推進します!
県産品を世界へ! グローバルマーケット戦略課が誕生しました!
- 03 県政フラッシュ
- 04 特集: 令和6年度当初予算のあらまし
- 06 沖縄産業クロニクル [マスコミ編]
- 08 今こそ取り戻そう! 健康長寿おきなわ!
タバコの危険性について考えよう!
- 09 県の動き1 5月は自動車税の納付月!!
県の動き2 スマホアプリでちょっとした健康づくり
- 10 てくてくわがまちさんぽ [糸満市]
- 11 県の動き3 5月12日は「民生委員・児童委員の日」
- 12 情報ひろば
- 14 県の動き4 ご存じですか? 「労働委員会」
- 15 読者プレゼント・広報課から5月のお知らせ・読者の声

沖縄の人口・世帯の動き

2024年3月1日現在

146万9,169人
総人口 ※前月比397人減少

64万4,448世帯
世帯数 ※前月比327世帯増加

沖縄県庁広報課
公式LINE
@okinawa-government



沖縄県庁広報課
公式X (旧Twitter)
@okinawa_pref



今月の表紙

「名護市 普久川滝」

撮影: はてるま こう

しっとりとした空気をまとう豊かな森の中に、清らかな水が流れ込む滝壺。思い切り深呼吸したくなる気持ちのいい場所です。



本号の電子Book版とバックナンバーはホームページでご覧いただけます。

[美ら島沖縄の設置場所] [美ら島沖縄]

県内コンビニ、モノレール各駅等で無料配布しています。また、公共機関や銀行、病院など多くの方が利用する施設でもご覧いただけます。新規設置施設も受け付けていますので、関心のある方は広報課までご連絡ください。なお、全世界向けの戸別配布は致しかねます。ご了承ください。



看護の心をみんなの心に

さまざまなイベント情報はこちら▶

5月12日~18日は「看護週間」です

